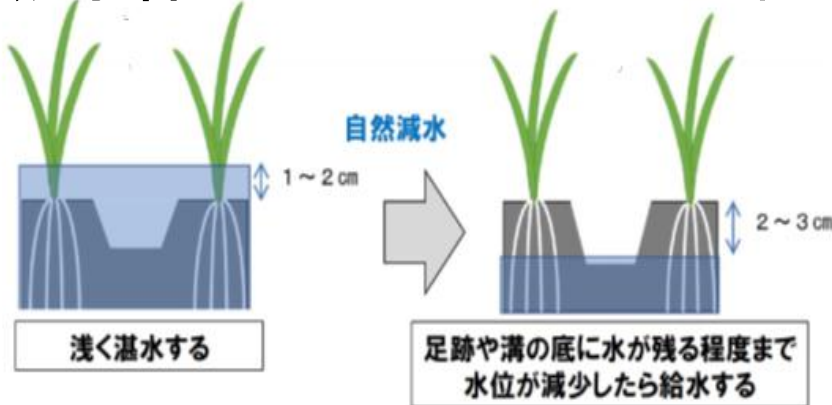


飽水管理と適期収穫で品質確保！

◎出穂後最低25日間は飽水管理を継続しましょう。

◎出穂の早期化、登熟期間の高温により収穫はかなり早まります。
積算気温を参考に黄化粳割合を確認して遅れず収穫しましょう。

○飽水管理のイメージ ～下図の管理を繰り返す～



○飽水管理の効果

- ・水温・地温の過度の上昇を抑え、根が健全化します。
- ・土壌からの窒素供給を促し、後期栄養が維持され、未熟粒の発生が抑えられます。

○出穂後積算気温による収穫適期のめやす (8月12日現在)

品種名	出穂期	出穂後積算気温(℃)	収穫適期
こしいぶき	7/19	9 2 5	8/21
こがねもち	7/20	9 5 0	8/23
コシヒカリ	7/26	9 5 0	8/29

積算気温表は、下記
QRコード先で確認



○必ず黄化粳の割合を確認(適期は85～90%)

- ① 1本の穂の上位3～4本目の1次枝梗上の2次枝梗粳(右図の点線)が黄化しているか確認。
- ② 中庸な穂10本を調査し、8本以上が①となっていれば収穫適期。

ただし、収穫直前に高温・乾燥が続く場合は、やや早め(黄化粳割合80%、図中の点線内の2次枝梗に青みが残る程度)の収穫を検討！

